

第3回 重点方針専門調査会 議事要旨

(開催日時等)

1 日時 平成28年4月21日(木) 17:00~19:00

2 場所 合同庁舎8号館8階6階623会議室

3 出席者

会長	佐藤 博樹	中央大学大学院戦略経営研究科教授
議員・委員	岩田 喜美枝	公益財団法人21世紀職業財団会長
	大石 亜希子	千葉大学法政経学部教授
	小山内 世喜子	青森県男女共同参画センター館長
	白河 桃子	少子化ジャーナリスト、作家、相模女子大学客員教授
	鈴木 準	株式会社大和総研主席研究員
	種部 恭子	医療法人社団藤聖会女性クリニック We 富山院長
	辻村 みよ子	明治大学法科大学院教授
	堀江 敦子	スリール株式会社代表取締役
	南 壮一郎	株式会社ビズリーチ代表取締役社長
	横田 響子	株式会社コラボラボ(女性社長.net 企画運営)代表取締役
	渡辺 美代子	国立研究開発法人科学技術振興機構副理事家本

(議事次第)

1 開会

2 議事

「女性活躍加速のための重点方針2016」に盛り込むべき重点取組事項について

3 閉会

(議事概要)

○「女性活躍加速のための重点方針2016」に盛り込むべき重点取組事項について、意見交換を行った。

(委員等からの主な発言)

【あらゆる分野における女性の活躍について】

- ・この項目全体が「ポジティブ・アクション」であり、「ポジティブ・アクション」という言葉を明記してほしい。
- ・企業の労働時間の実態についての情報開示を企業に義務付けることを検討項目の一つに入れていただきたい。
- ・女性リーダー育成のモデルプログラムについて、管理職候補の人材育成はすでに企業等で取り組まれてお

り、ここでは将来の役員クラスの養成だということがわかるよう書き方を工夫すべき。

- ・キャリアの断絶は、非常に大きなテーマであり、長時間労働の項目の下に置くのではなく、独立した項目にしたほうがよい。
- ・女性活躍の障害としての固定的性別役割分担意識としては、「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という意識も残っていると思うが、「家事・育児等は女性の仕事だ」というものであるという意識が問題。
- ・「ワンストップ」が何に関するワンストップであるのか、表現を検討すべき。
- ・1.(2)の下にある項目はもっとわかりやすくする必要があり。意識の改革は学校教育段階から取り組むことが重要であることが分かるよう追記してほしい。
- ・公共調達における評価はワーク・ライフ・バランスだけではなく女性の育成や登用という面もある。また、民間企業の調達でも、CSRの観点から取り組めることを書き加えてほしい。
- ・時間外労働規制のあり方についての再検討は、期限を決めて取り組むことが重要である。
- ・男性の家事・育児等については、主体的に参画する、のではなく、シェアする、という考え方で取り組んでほしい。

【女性の活躍をさせる安全・安心な暮らしの実現について】

- ・熊本地震への対応について記載すべき。被災地への支援や、女性や子育て世代のニーズに配慮するなどの災害対応をより一層推進すべきであることを盛り込んでほしい。
- ・ひとり親のワンストップに関しては、関係機関の連携が重要であることをわかるようにすべき。
- ・児童扶養手当の毎月支給は、衆議院の厚生労働委員会で附帯決議がついたので、前向きに検討してほしい。
- ・健康支援のところにはリプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点を記載すべき。また、女性だけでなくパートナーである男性の問題であり、男性も女性の健康に対する正しい知識を持てるようにしていただきたい。
- ・「児童の性に着目した新たな形態の営業」という表現は分かりにくい。表現を検討すべき。

【女性活躍のための基盤整備について】

- ・前書きのところをもっと充実させてほしい。
- ・「家事負担を軽減するための商品・サービスの充実を図るべき」というのが何を指しているのか不明。
- ・通称使用のみを書くことで選択的夫婦別氏制をあきらめたような印象を与えないようにしてほしい。通称使用だけで皆が抱えている問題が全部解決されるということではない。
- ・通称としての旧姓の使用に関しては、プラグマティックに希望に応じた使用の拡大を進める必要がある。マイナンバーカードや運転免許証などでも旧姓が併記できるようにすれば、不便さは相当軽減できるのではないか。また、様々な国家資格でも旧姓使用を認めるなどの工夫をお願いしたい。
- ・税・社会保障制度等については、「基本計画期間中のできるだけ早期に見直しを行うよう」という文言は、基本計画には書いてあるが、重点方針2016では時間軸に悠長さを持たせないほうがよいのではないかと。

【総論・その他】

- ・冒頭の書き出しで書かれている、基本計画で強調した事項は、箇条書きにするなどもっとわかりやすくしてほしい。
- ・各施策を実施するだけでなく、その効果を検証することが重要。PDCAのPDはあるが、CAが弱い

ように感じる。

→（内閣府）男女共同参画会議で、4次計画に関し、各施策のフォローアップもしっかりやっていくことを決定している。その一環として、重点取組事項の各施策の実施状況や効果なども見ていくということではないか。方法等に関しては今後決定していく予定。

以上